環境経営ビジョン

カシオは「エネルギー問題」(資源枯渇問題)と「地球環境問題」(温暖化問題) という2つの深刻な問題解決に取り組んでいます。

●環境経営の実践

カシオは創業以来一貫して省エネ・省資源の製品づくり をしてきました。省エネ・省資源の製品を2つのモデルを使っ て、「資源生産性」指標※で比較すると実に142倍の向上を 実現してきた歴史があります。

この「製品づくり」は、調達・製造・販売・使用・廃棄・ 回収のプロセスにおいて、すべてのステークホルダーに対し て、少なからず省エネ・省資源の環境経営に貢献してきた ことを意味します。これらの成果はカシオの環境適合製品開 発に継承され、今日売上高の77%がグリーン商品で構成さ れるまでになりました。

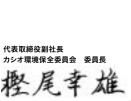
2008年は京都議定書の第1約束期間の初年度にあたり ます。カシオは温室効果ガスについて環境行動目標に掲げ、 事業規模あたりの排出量削減に取り組んできました。2008 年からは原単位削減から絶対量の削減目標を掲げ、取り組 んでいきます。

カシオは、京都議定書の温室効果ガス SF6(六フッ化硫黄) の代替ガス化 (F2ガス) の技術開発に成功しました。液晶や 半導体産業界の CO2 削減に大きく貢献する成果です。

さらに、希少金属の枯渇問題に対しても経済産業省が企 画した「希少金属代替材開発プロジェクト」に参加し、超希 少金属「インジウム」の使用量を75%減らす液晶材料の技 術開発(透明電極膜を酸化インジウムすずから酸化亜鉛に 置き換え) に貢献しています。

カシオは環境関連法律の要求事項を満たすことは自明の 事と実践しています。コンプライアンスの先にある、望まれて いることを環境経営の中で推進していきます。

これからも「創造 貢献」の使命を行動に表し、形にして「エ ネルギー問題」や「地球環境問題」の解決にイニシアチブを 発揮していきます。





カシオ環境憲章と環境基本方針

カシオ環境憲章

カシオは地球環境保全のためにカシオグループ全体の事業 領域に亘り、企業の環境責任の重要性を認識し、広く国際 社会という視点で世界の繁栄と人類の幸福のために貢献す べく基本方針を定め、具体的な施策を掲げ、実行に努める。

環境基本方針

- I. 国内海外の環境関連法律、協定、規準を順守する。
- 2. 製品の開発、設計、製造、流通、修理サービス、回収・ 廃棄の各段階において環境への配慮を踏まえた自主的な 「カシオ環境保全ルール」※を定める。カシオグループ 全事業部門は責任を持って実行するとともに、その順守 度を監視し継続的な改善をはかる。
- 3. 企業の社会的責任という立場でよき企業市民としてカシオ グループ全員が地球環境保全の重要性を認識し、意識 昂揚をはかる。
- 4. 本方針は、国内、海外のカシオグループ全事業部に適用する。 ※「カシオ環境保全ルール」は「カシオ環境ボランタリープラン」に定める具 体的な環境保全実施項目です。

カシオ環境ボランタリープラン

環境行動目標

※資源生産性=価格÷製品重量

1957年: リレー式計算機 14-B 資源生産性3.46円 g=485,000円 /140,000g 1983年: フィルムカード電卓 SL800 資源生産性 491円 g=5,900円 /12g

2008年度カシオグループ環境経営方針

環境経営方針・「環境経営先進企業カシオの基盤強化と確立」

1:環境法規制順守とリスク管理

2:環境経営度の向上

3:環境経営を通じた CSR 経営への貢献

4:人と環境に優しい商品開発

